

将来計画検討専門委員会 報告

大内正己 (NAOJ/東大)

メンバー

秋山正幸、井上昭雄、河原創、
住貴宏、左近樹、高田昌広、成田憲保、
松田有一、本原顕太郎

活動

2021年

- 10/5: 第1回ミーティング [2030WGから引継ぎ]
- 10/29: 第2回ミーティング
- 11/12: 第3回ミーティング
- 12/17: 第4回ミーティング

2022年

- 2/10: 第5回ミーティング
- 2/21-22: 光赤天連シンポジウム

他、委員会内において、メールによる議論多数

MP2023/2030WGから 本委員会への引き継ぎ事項

- 新委員会

- 目標の設定(ロードマップ+改訂、およびMP対応？文書を定期的に発行？)
- 過去から未来への接続(2030WGの活動[GOPIRA WP]をどう生かすか)
- 新たな試み(タウンミーティングの開催も必要か？)
- スケジュールに余裕をもった活動をすること(マイルストーンをもって)
- MP2026以降の選定でもHPに活動履歴を書くべき(委員会の活動を明示)

- 喫緊の課題

- 戦略的中型計画の創出に向けたシンポジウム(可及的速やかに。10-12月?)
- 高宇連との共同研究会(12月)
- すばる3の議論
- Astro2020の結果(今秋)を受けた議論。月面天文台の動き。
- JAXA/ISASのミッションカテゴリー再定義の動き(+戦略的中型選考の動き)
(他コミュニティとのMP2023選定の反省会を行う)

本委員会の体制

- 委員長へ立候補なし。他薦で大内(委員長)
- 分野バランスを考え、他薦で成田(副委員長)

主な議論

- マスタープラン2023から「学術研究の骨太な取りまとめ」への現状理解
- Decadal survey astro2020 (11/4)の結果を受けて情勢分析
 - 日本がmaturation programに参加する場合のケーススタディー

以下はSPICA(戦略的中型衛星)中止を受けての対応

- JAXA概念設計検討委員会報告の共有(オブザーバー;野上さん)
- 戦略的中型衛星の選考
 - 最新の状況(オブザーバー;山田さん)
 - 宇宙研・宇宙理学委員会との意見交換(上野さん、山崎さん、山田さん)
- 戦略的中型衛星シンポジウムの開催決定と準備
 - 世話人:松田、本原
- 高宇連との意思疎通

光赤天連シンポジウム(2/21-22)

「2030年代の戦略的中型をどうするのか」

- SPICA中止→光赤天連コミュニティとして2030年代に推進する計画を議論
 - 2030年代の光学赤外における科学テーマを概観
 - 日本としてどのようなサイエンスを狙うのか
 - 国内外の各種衛星計画の動向を共有
 - 宇宙研における戦略的中型ミッションの新しいフレームワーク(GDI)
 - 将来の戦略的中型ミッションへの道筋

さらなる議論が必要

→ 2022年度早いうちにもう一度シンポジウムを開催

今後の予定

2022年

- 3/10 高宇連研究会での光赤天連活動紹介と意思疎通
- 3/28 第6回ミーティング

- 前半：光赤天連シンポジウム（戦略的中型；2回目）
 - 宇宙研GDIの時限ワーキンググループ設置期限（9月）まで

- 喫緊の課題（戦略的中型衛星）
 - 残りの重要課題（ロードマップ含む）へ